

サステナビリティ関連ビジネス

サステナブルファイナンスの促進

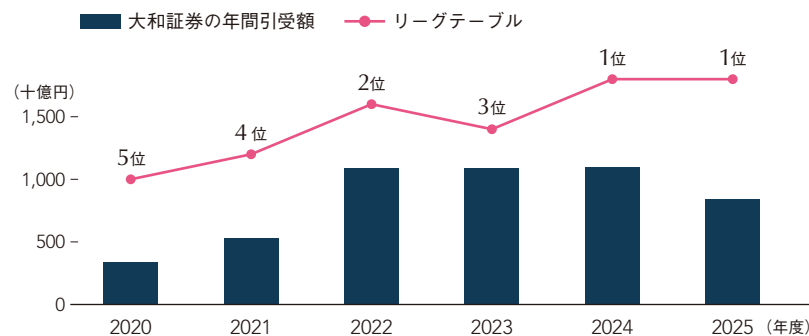
サステナブルファイナンス市場において、当社グループは長年にわたる実績と専門知識を活かし、多様なソリューションを提供することで、お客様のニーズに応えています。

国内SDGs関連債*市場における当社グループの主幹事実績は2年連続リーグテーブル1位を達成しています。本邦初のオレンジボンド(発行体:伊藤忠商事)や、本邦初となるペロブスカイト太陽電池に関する設備投資、研究開発を資金使途としたグリーンボンド(発行体:積水化学)など数々の案件を手掛け、市場のフロンティアを開拓してきました。

サステナブルファイナンスへの取組みは、単なる案件実行支援を超え、当社グループ全体の企業価値向上に貢献しています。お客様のESG戦略策定や目標設定、情報開示といった経営課題そのものに深く関与し、長期的な伴走支援を通じて強固な信頼関係を築き、当社グループの収益基盤強化に資するものです。主に専門部署であるサステナビリティ・ソリューション推進部が、豊富な実務経験や外部からの専門人材の登用によって知見を蓄積し、投資家および発行体と密接にコミュニケーションを取ることで、新規性やインパクトの観点で意義のある案件を創出しています。一方、全社的なサステナブルファイナンスの推進のために、SDGs債の引受業務において、生成AIを活用したグリーン・ソーシャル性診断ツールを運用するなど、特定部署・社員の知見に頼らずともグリーンウォッシングの検知ができる体制を整えています。

* サステナビリティボンドなどを含む、発行体のサステナビリティ戦略における文脈に即し、環境・社会課題解決を目的として発行される債券

国内SDGs関連債：大和証券の引受額およびリーグテーブルの推移



また、投資家がサステナブルファイナンスに寄せる関心はより多様化・高度化し、トランジションやレジリエンスといったテーマが、国内外を問わず重要になりつつあります。2025年度は、韓国の新韓銀行が海外発行体として初めてトランジションボンドをサムライ債として発行するにあたり、日本のトランジションファイナンスのトレンドに即したサポートを提供しました。こうした取組みは、環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」で最高位となる金賞を受賞するなど、外部からの評価にもつながっています。

今後も、サステナブルファイナンス市場において、社会課題解決とお客様の企業価値向上に貢献する革新的なソリューションを提供し、持続的な成長を実現していきます。



● P.35 社員コメント(GIB)

人生100年時代における資産形成支援

大和証券グループでは、サステナビリティの観点を取り入れた2030Visionにおけるマテリアリティのひとつに「人生100年時代」を掲げ、個人の中長期的な資産形成支援を重要な取組みと位置付けています。これを踏まえ、大和アセットマネジメントでは、多様化・高度化する投資ニーズに応えるべく、独自性と先進性を兼ね備えた商品・サービスの提供に努めています。

具体的には、「iFreeNEXT FANG+インデックス」に代表される成長性の高いグローバル企業への投資機会を提供する商品に加え、iFreeHOLDやiFreeWalletシリーズなど、長期投資や効率的な資産運用を志向した商品の展開を強化し、投資経験やリスク許容度に応じた資産形成の支援を推進しています。

こうした取組みにより、2025年度末時点のNISA対象ファンド数は146本(2024年度末比+12本)に拡大しました。また、NISA対象公募株式投資信託(ETF除く)の残高は4.8兆円(同+1.4兆円)と着実に増加しており、個人向け公募投資信託の残高は拡大基調を維持しています。

サステナビリティ関連ビジネス

また、投資先企業との建設的な対話(エンゲージメント)を通じて、経営課題への対応や非財務情報も含めた情報開示の高度化を促し、企業の成長機会の創出とリスク低減の両立を目指しています。これらの取組みは、投資先企業の中長期的な企業価値向上に寄与するとともに、運用パフォーマンスの向上を通じた受益者へのリターン創出につながっています。

加えて、投資機会の多様化に対応するため、オルタナティブ資産を投資対象とする商品の拡充にも取り組んでいます。

情報提供の面では、「iFree(大和アセット)LINE公式アカウント」の開設やウェブサイトの刷新を通じて、投資家に対するタイムリーかつわかりやすい情報発信の強化を図っています。



これら一連の取組みにより、個人投資家の裾野拡大と中長期的な資産形成の促進を図るとともに、商品提供力および情報発信力の強化を通じた競争優位性の確立と運用資産残高の拡大を実現しています。

今後も、多様なニーズに応える商品開発とサービスの高度化を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでいきます。

● P.31 社員コメント(大和アセットマネジメント)

カーボン・クレジット市場の形成に向けた取組み

2022年に経済産業省がGXリーグ基本構想を公表し、2023年からは東京証券取引所においてカーボン・クレジット市場が開設されました。同市場は、開設後も着実に市場参加者を増やし、2025年には累積売買高が100万トンに到達しました。こうした制度整備の進展を背景に、企業などの温室効果ガス排出削減を補完する手段として、カーボン・クレジットの市場動向への関心が着実に高まっています。

大和証券は、従来より欧州における排出権取引で培った知見を活かし、国内カーボン・クレジット市場の拡大を見据え、取引体制の整備を進めています。国内の証券会社として唯一、東京証券取引所のカーボン・クレジット市場にマーケットメイカーとして参画し、継続的な流動性供給を通じて、取引の円滑化と適正な価格形成に貢献しています。これらの取組みが評価され、開設当初よりグッド・マーケットメイカー賞を連続受賞し、2025年度にはベスト・マーケットメイカー賞を受賞しました。

今後は、市場の拡大に伴う収益機会を着実に捉えるとともに、継続的な流動性供給を通じてクレジット価格の信頼性を高め、市場の健全な発展を支えることで、排出量削減に資するインセンティブ創出に貢献していきます。

